

KiKiの広場

2020年10月 1日

cafe NO.120
KiKi



9月24日から27日まで開催された「ヒストリア宇部10周年記念市民祭」は、みなさまのご協力のおかげで、無事に終了いたしました。本当にありがとうございました。

5年前同じようにみんなが集い、10周年に向けての想いを込めて新しいスタートを切りました。当然ですが、始めの5年間とは違う5年間がありスタッフも変わりました。でも、今回もオープン当初の受付とカフェのスタッフが駆けつけてくれて10周年を祝ってくれる姿を見て、形は少しずつ変わっても想いは10年前と少しも変わっていないんだなあと思えました。

今回ヒストリアに関わるたくさんの方々が、自分たちのされていることをいろいろな形で表現してくださいました。全ての方にご参加願うのはなかなか難しいですが、次回15周年に向けてより多くの方に、ヒストリア宇部を発信の場、また共有・集いの場として利用していただけるよう、もっともっと考えていきたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願いたします。

🍰「今月のケーキ」…「マロンケーキ」 350円 🍰

10月の予定	
休館日	13日(火)
定休日	毎土・日・月曜日



マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、毎年人気のケーキです。



今月のお気に入り…「秋を楽しむ絵本」

～「秋は林をぬけて」「いまはあき」「ぞらまめとわらとすみ」「ナミチカの子のこがり」「やきいもの日」「モミジのつばさ」～



「秋は林をぬけて」の作者は、北海道出身の小泉るり子さん。とにかく絵が素敵です。北海道の大自然、ダイナミックさ、秋の美しさを体感できる絵本です。「いまはあき」は、「スモールさん」シリーズのロイス・レンスキー。手のひらサイズの可愛らしい絵本です。こんなふうにも子どもと秋を楽しむたらいいなあと思える本です。どのページからも秋の楽しさが伝わってきます。



今月の本棚…「想像力が膨らむ絵本」

～「あけるな」「ぞうのボタン」「だって…」「かようびのよる」「そこなし森の話」「トリゴラス」「うごいちゃだめ！」など～



「あけるな」は、文が谷川俊太郎さん、絵が安野光雅さん。2人の絶妙な世界観に、ぐいぐい惹きこまれていきます。「あけるな」と言われたドアの向こうにいったい何が？静かでちょっぴり怖くて、最後にドアの向こう側に見えるもの・・・私の想像力はまだまだでした。(^^)「きつねのテスト」も、何とも不思議なお話です。作は小沢正さん、絵は片山健さんですが、まず、主人公の女の子の顔が怖い！(^^)不気味な絵と不思議な話に、いったいどうなっていくんだろうと想像力をかきたてられます。テストの正解って、嬉しいかなあ？と悩んでしまいますが・・・面白いです。



ほっとスレイク



今回の記念イベントで、いろいろな方からたくさんのお花をいただきました。イベント終了後も、立派な花束を小分けにして受付やカフェに生けさせていただきました。

ヒストリアにとって、花が身近なものになったのは、2010年のオープン直後からです。清掃のKさんが自宅の庭の花を届けてくださるようになったからです。車を運転されないKさんの交通手段は自転車かバスですが、雨の日も関係なく、大きな束を抱えて来てくださるようになりました。それから毎週新しい花が届いています。それは、10年間1度も欠かさず続けています。本当に、ただただ感謝しかありません。Kさんの想いに、少しでも応えられるよう、これからも心を込めて花を活けていきたいと思えます。

